

デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'10／第16回AMDアワード開催概要等

【社団法人デジタルメディア協会の活動概要】

約65社の会員により、コンテンツ分野で活躍するプレイヤーの支援、コンテンツ分野におけるビジネス環境の整備、新たな配信メディアの開拓等、コンテンツビジネスの発展に向けた多様な取組を進めています。AMDは、政府のIT戦略本部や知的財産戦略本部の取組とも歩調を合わせ、より多くの事業者や関係者と共に、一層のデジタルメディア・コンテンツ産業の振興に向けて活動を拡大しています。

（取組事例）

- AMD Award ほか奨励事業
毎年の優れた制作活動を行った個人やグループを表彰する「AMD Award」を開催。
また、eAT金沢、東京国際映画祭、アニメーション神戸、ワイヤレスジャパン等のイベントへの特別協力・後援。
- 新たなメディアにおけるコンテンツビジネスの模索
「出版委員会」「著作権委員会」「デジタル・コンテンツ利用促進委員会」「デジタルメディア普及委員会」「ネットワーク・モバイル委員会」等AMD各委員会活動を通じてコンテンツビジネスの健全かつ効率的な育成・発展への寄与。

【デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'10／第16回 AMD アワード開催概要】

1. 名 称 : デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'10／第16回AMDアワード
2. 主 催 : 社団法人デジタルメディア協会(略称/AMD)
3. 協 賛 : イート金沢実行委員会、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、株式会社角川グループホールディングス、株式会社角川コンテンツゲート、グリー株式会社、コーエーテクモホールディングス株式会社、株式会社バンダイナムコホールディングス
4. 後 援 : 総務省
5. 推薦期間 : <年間コンテンツ賞>平成22年12月1日(火)～平成23年1月14日(金)
6. 授 賞 式 : 日 時/平成23年3月17日(木) 16:30～
会 場/明治記念館「富士の間」、出席者/300名(予定)
7. 趣 旨 : コンテンツ制作者の立場からデジタルコンテンツ産業の発展のために、デジタルメディアの質的向上ならびに人材育成を目的として、「AMDアワード」を制定。
8. 対象作品 : <年間コンテンツ賞>
平成22年1月1日より12月31日の間に日本国内において発売・発表(当該期間内に新たに普及・注目されたものを含む)されたデジタルメディアにて表現されるコンテンツ及び最新のデジタル技術を駆使して制作された国内(海外展開含む)の作品(デジタルコンテンツ及びサービス)。
9. 審査方法 : 「年間コンテンツ賞」については、実行委員会の指名する第16回AMDアワードサポーターにより推薦された作品を別に組織する審査会(審査員長: 浜野保樹(東京大学大学院教授))にて審議し、各賞を決定。
10. 賞 の 内 容 : <年間コンテンツ賞>
 - (1)大賞/総務大臣賞(該当1作品の制作者)
◆Digital Contents of The Year'10 The AMD Grand Prize～総務大臣賞～
 - (2)AMD理事長賞(該当1作品の制作者)
 - (3)優秀賞(該当9作品の制作者)
 - (4)功労賞
業界への長年の献身・功績のあった人物に対し与えられます。
 - (5)江並直美賞(新人賞)
対象業績が業界における第一線へのデビューを飾るものであることを前提に業界の発展に寄与したと認められる人物に対し与えられます。
 - (6)リージョナル賞(該当1作品の企画団体)
地域に根ざしたデジタルコンテンツやサービスの中で、最も優れた功績を挙げた個人・団体に授与されます。

※(1)、(2)は、(3)優秀賞受賞作品の中から選出されます。授賞式当日の発表となります。